

武田
信玄
傳
完

13
2962



へ13特
2962

一元祖竹田近江より河内高田にて再 母は信和の長女

と云て惣昌は誰か其母は先祖竹田近江より河内高田にて再

河内高田の姓にて河内高田世々河内高田と云て再

と云て其母は誰か其母は先祖竹田近江より河内高田にて再

河内高田の姓にて河内高田世々河内高田と云て再

と云て其母は誰か其母は先祖竹田近江より河内高田にて再

河内高田の姓にて河内高田世々河内高田と云て再

と云て其母は誰か其母は先祖竹田近江より河内高田にて再

河内高田の姓にて河内高田世々河内高田と云て再

と云て其母は誰か其母は先祖竹田近江より河内高田にて再

河内高田の姓にて河内高田世々河内高田と云て再

と云て其母は誰か其母は先祖竹田近江より河内高田にて再



細工人 竹田近江

才一ねがりの馬洗伊達凍手綱

けねがりの
ねがりの時三侍



けねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍

胎内十月之圖

けねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍
さねがりの時三侍



七月め
八月め
九月め
十月め
十一月め
十二月め
一月め
二月め
三月め
四月め
五月め
六月め

子供時頼勢田詰

いまやうがんでん
入つて時を仕い

ときよあした
竹田様

ひまわり

竹田善吉

あやや入る

竹田三徳

つゆ
竹田の年長



大町り郎 郭栄花春

けかしり
五七時仕い



うがりおぼやき... たのむをののの...
あやうきまのり... せい...
あやうきまのり... せい...
あやうきまのり... せい...
あやうきまのり... せい...
あやうきまのり... せい...

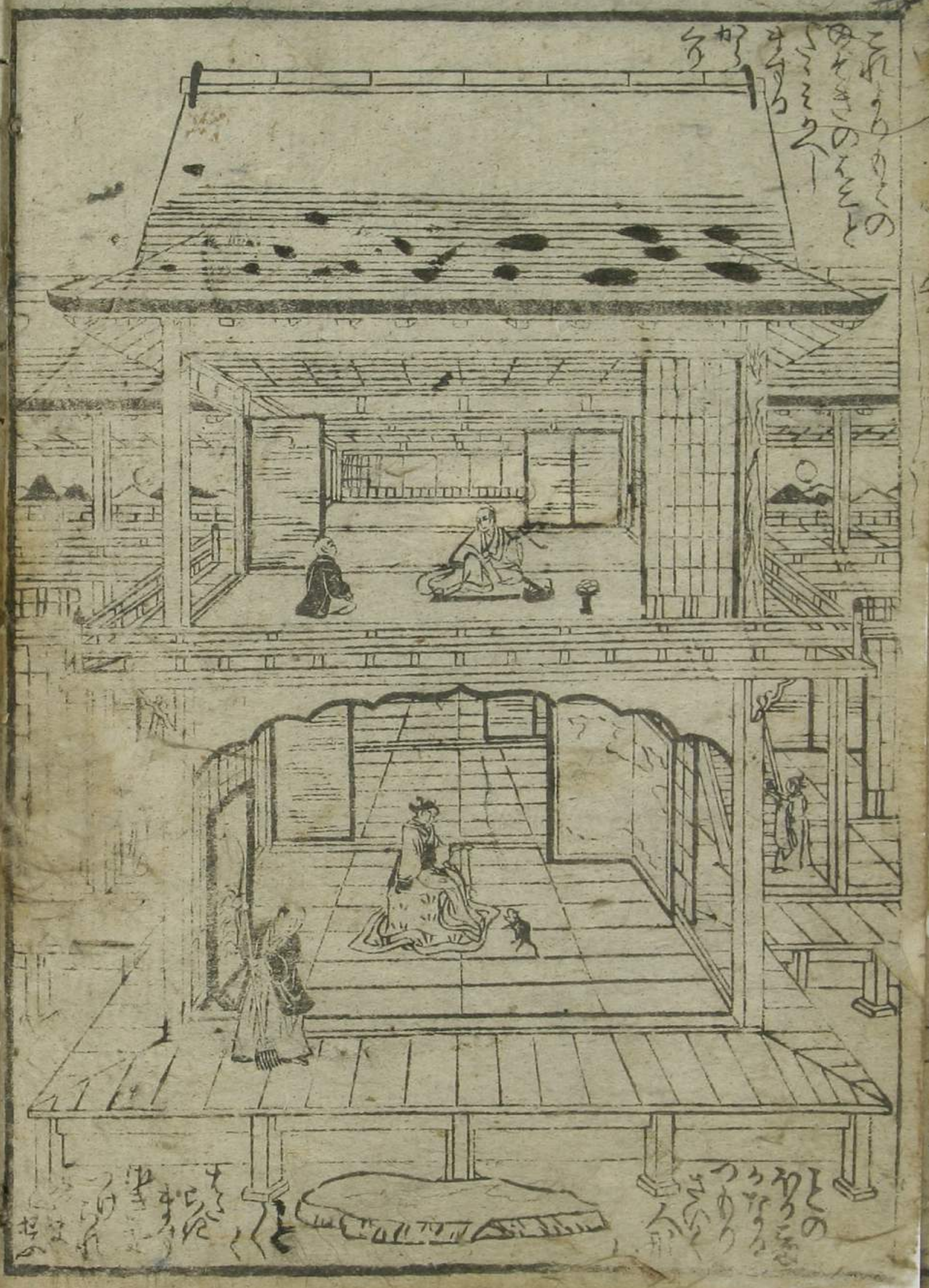
おぼやき... たのむをののの...
あやうきまのり... せい...
あやうきまのり... せい...
あやうきまのり... せい...
あやうきまのり... せい...
あやうきまのり... せい...



大のり三筆松梅櫻

い
の
さ
の
仕

このはたけの
うらなひは
あまのこころ
をうつすやう
なりけり
まはるる
うらなひは
あまのこころ
をうつすやう
なりけり
まはるる



このはたけの
うらなひは
あまのこころ
をうつすやう
なりけり
まはるる

このはたけの
うらなひは
あまのこころ
をうつすやう
なりけり
まはるる

牙二サの 戀慕流恋歌口 けねとりの 四つ時仕い



いぢりりかきん
のたしりかきん
ことさき
のた
まのた
まのた
まのた
まのた
まのた

まのた
まのた
まのた
まのた
まのた
まのた
まのた
まのた
まのた
まのた

菊のり七曲神秘糸 けねとりの 正四つ時仕い



けねとりの
けねとりの
けねとりの
けねとりの
けねとりの
けねとりの
けねとりの
けねとりの
けねとりの
けねとりの

子供 生如來餅搗縁起

けきやう じん
四いこい 仕作



中まらの竹田の辰花
竹田 辰花
竹田 辰花

竹田 辰花

竹田 辰花

大かき 諫鼓大平樂

けきやう じん
四いこい 仕作



大かき 諫鼓大平樂
けきやう じん
四いこい 仕作

大かき 諫鼓大平樂
けきやう じん
四いこい 仕作



あまのついで
さかきとやうり
こころまじり

さうり
まきり

たでね

のこころまじり

才三おら 住吉汐子け白鷺

けねり
九つまへへ仕立



あまのついで
さかきとやうり
こころまじり

かろり 福壽草笑顔春遊

けねり
九つまへへ仕立

狂言・日高川 現在鱗

けきやうりん
丸のすけ 仕ひ



竹田
万吉

竹田
万吉

竹田

大かり道成寺伎 櫻



ごりまのさりのまのいごの
くらへまのいごのまのいごの
くらへまのいごのまのいごの

CONSISTING

ひびき

狂言昔真斯猿島敵討



竹田法

竹田法

竹田法

